

令和元年度 公共事業事後評価調書

1. 事業説明シート

(区分) 国補 ・ 県単

事業名	畑地帯総合整備事業（国補）		事業箇所	韮崎市中田町中条地内	地区名	中条	事業主体	山梨県
(1) 事業着手年度	H18年度	(2) 事業期間	H18年度～H26年度	(3) 完了後経過年数	5年	(4) 総事業費	1,180百万円	
(5) 事業着手時点の課題・背景				(8) 事業位置図等				
<p>本地区は昭和40年に実施された土地改良事業により造成されたもの一大生産地であり、ももの開花の時期には樹園地全体がピンクの色でおおわれ、文字通り桃源郷の様相を呈し、豊かな農業景観が残されている。『新府の桃』は産地ブランド化が進められ、収穫時期には新府共選場などで、ももの直売が開催され毎年盛況となっている。一方、畑地かんがい施設の老朽化も著しく、また水路の未整備箇所が多いことから、果樹栽培に不可欠である用水の安定的な供給が求められるとともに、果樹の品質低下の要因となる排水不良など、営農条件の改善が課題となっていた。</p> <p>このため、用水施設の配水槽やパイプライン等を更新し、用水供給能力の向上に努めるとともに、排水路の新設や狭小な農道の改修および遊休農地を含む区画整理を一体的に実施することで営農条件の不備を改善し、本地区の営農の維持発展を図ることを目的に本事業を実施した。</p>								
(6) 事業着手時点で想定した整備目標・効果								
<input type="checkbox"/> 主要目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業生産力の向上 <input type="checkbox"/> 副次目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業用排水能力の向上 <input type="checkbox"/> 副次効果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地の保全 								
(7) 整備内容（目標達成の方法）								
事業量								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農道整備 農道 1路線 L=323m、W=4.0m 幹線道路 1路線 L=359m、W=6.0m ・ 区画整理 1箇所 A=2.3ha ・ 排水路 3路線 L=1,100m、W360～600×H360～900 ・ 用水施設 一式 畑かん施設 L=4,383m、配水槽 1箇所 								

2. 評価シート (1)

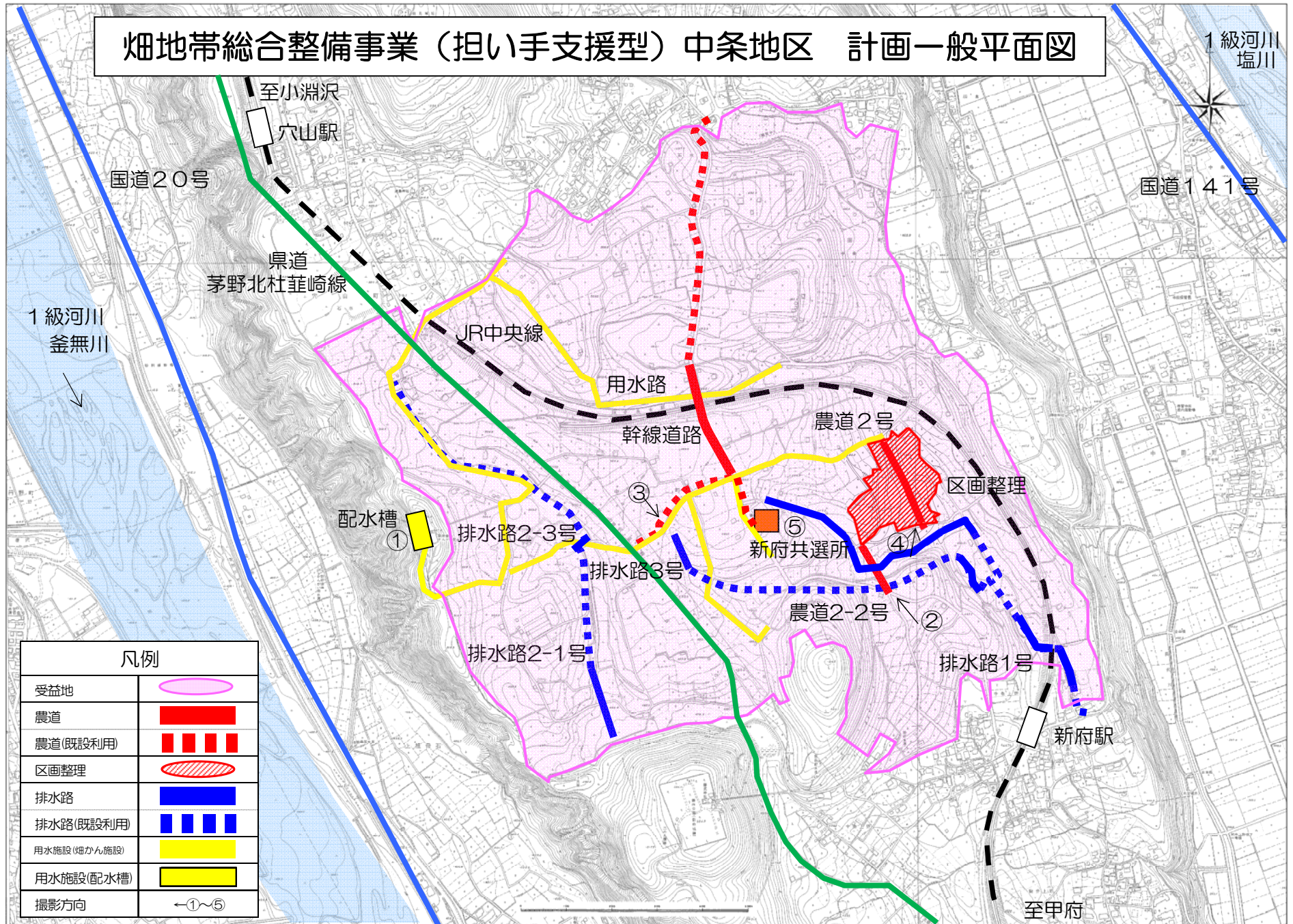
(1) 事業貢献度 〈(良)・不良〉	(2) 費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 〈(有)・無〉																																																																									
<p>(理由) 安定した農業用水の供給により樹園地が潤され、農道の整備により農作物の品質向上や運搬時間の短縮が図られた。また、区画整理により農地の集積が図られ、作業効率のよいほ場が形成された。</p> <p>①主要目標 農業生産力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">指標</th> <th style="width:30%;">事業着手時点数値等</th> <th style="width:50%;">事後評価時点数値等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面積当たり農業所得増加額</td> <td>410千円/ha ※1</td> <td>463千円/ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>□評価 ・農業所得の増加額が評価基準値405千円/haを上回っている。 (区画整理などの生産基盤整備の実施により作業効率の向上やもの高品質化が図られたことにより農業所得が増額となった。) ※1 着手時は評価基準値を設定していなかった。</p> <p>②副次目標 農業用排水能力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">指標</th> <th style="width:30%;">事業着手時点数値等</th> <th style="width:50%;">事後評価時点数値等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設者朽度</td> <td>1.00</td> <td>0.17 ※1</td> </tr> <tr> <td>用排水能力向上率</td> <td>1.00</td> <td>1.73 ※2</td> </tr> </tbody> </table> <p>□評価 ・施設者朽度 ※1 (使用年数5年) ÷ (耐用年数30年) = 0.17 ≤ 1.0 ・排水能力向上率 ※2 (計画排水能力) コンクリート水路による排水能力0.18m³/s ÷ (現況排水能力) 土水路による排水能力0.104m³/s = 1.73 ≥ 1.0 ・畑地かんがい施設の改修により、安定した用水の供給が可能となった。</p> <p>③副次効果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">項目</th> <th style="width:80%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地の保全</td> <td>安定した農業用水の供給や区画整理などの生産基盤の整備により優良農地が保全されている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>④その他の事業効果の発現状況 ・地区の中心に位置する共選所へのアクセスを考慮した農道整備や老朽化した畑かん施設の整備により、通作や集出荷の効率化やもの品質向上が図られた。また、新府共選場から出荷されるものは『新府の桃』としてブランド化され県内外から好評を得ており、農家の営農意欲向上に貢献している。</p>	指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等	面積当たり農業所得増加額	410千円/ha ※1	463千円/ha	指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等	施設者朽度	1.00	0.17 ※1	用排水能力向上率	1.00	1.73 ※2	項目	内容	農地の保全	安定した農業用水の供給や区画整理などの生産基盤の整備により優良農地が保全されている。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">項目</th> <th style="width:20%;">着手時点</th> <th style="width:20%;">再評価時点</th> <th style="width:45%;">事後評価時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>786 百万円</td> <td>— 百万円</td> <td>1180 百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H18~H22</td> <td>~</td> <td>H18~H26</td> </tr> <tr> <td>評価基準年</td> <td>H17</td> <td>—</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用</td> <td>786 百万円</td> <td>— 百万円</td> <td>1180 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>786 百万円</td> <td>— 百万円</td> <td>1180 百万円</td> </tr> <tr> <td>百万円</td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>百万円</td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">便益</td> <td>950 百万円</td> <td>— 百万円</td> <td>1270 百万円</td> </tr> <tr> <td>作物生産効果</td> <td>289 百万円</td> <td>— 百万円</td> <td>542 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費節減効果</td> <td>112 百万円</td> <td>— 百万円</td> <td>87 百万円</td> </tr> <tr> <td>文化財発見効果</td> <td>29 百万円</td> <td>— 百万円</td> <td>108 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>520 百万円</td> <td>— 百万円</td> <td>533 百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.2</td> <td>—</td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他は、走行経費節減効果、一般交通等経費節減効果、営農経費節減効果、更新効果</p> <p>費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。 (要因変化の分析) 総事業費：JR中央線を横断する幹線道路の橋梁架設において、安全を考慮した工法への変更による事業費の増、および区画整理実施地内における埋蔵文化財調査費の増による事業費の増。遺構は現状保存（遺構に砂を被せて保護した上に作土を戻し整備を行う）</p> <p>③ 事業実施による環境の変化</p> <p>①自然環境への影響 基盤整備を進めたことで耕作放棄地の発生防止につながり、「新府桃源郷」として良好な農村景観が保たれている。</p> <p>②生活・居住環境等への影響 なし</p> <p>③環境保全対策の効果発現状況（措置を講じた場合） なし</p> <p>④ 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響</p> <p>①社会経済状況の変化 なし</p> <p>②関連計画・関連事業の状況の変化 なし</p> <p>③事業環境等の変化 なし</p>	項目	着手時点	再評価時点	事後評価時点	総事業費	786 百万円	— 百万円	1180 百万円	工期	H18~H22	~	H18~H26	評価基準年	H17	—	R1	費用	786 百万円	— 百万円	1180 百万円	建設費	786 百万円	— 百万円	1180 百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	便益	950 百万円	— 百万円	1270 百万円	作物生産効果	289 百万円	— 百万円	542 百万円	維持管理費節減効果	112 百万円	— 百万円	87 百万円	文化財発見効果	29 百万円	— 百万円	108 百万円	その他	520 百万円	— 百万円	533 百万円	B/C	1.2	—	1.1
指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等																																																																								
面積当たり農業所得増加額	410千円/ha ※1	463千円/ha																																																																								
指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等																																																																								
施設者朽度	1.00	0.17 ※1																																																																								
用排水能力向上率	1.00	1.73 ※2																																																																								
項目	内容																																																																									
農地の保全	安定した農業用水の供給や区画整理などの生産基盤の整備により優良農地が保全されている。																																																																									
項目	着手時点	再評価時点	事後評価時点																																																																							
総事業費	786 百万円	— 百万円	1180 百万円																																																																							
工期	H18~H22	~	H18~H26																																																																							
評価基準年	H17	—	R1																																																																							
費用	786 百万円	— 百万円	1180 百万円																																																																							
	建設費	786 百万円	— 百万円	1180 百万円																																																																						
	百万円	百万円	百万円																																																																							
	百万円	百万円	百万円																																																																							
便益	950 百万円	— 百万円	1270 百万円																																																																							
	作物生産効果	289 百万円	— 百万円	542 百万円																																																																						
	維持管理費節減効果	112 百万円	— 百万円	87 百万円																																																																						
	文化財発見効果	29 百万円	— 百万円	108 百万円																																																																						
	その他	520 百万円	— 百万円	533 百万円																																																																						
B/C	1.2	—	1.1																																																																							

評価シート(2)

<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由) 当該事業により整備された畑地かんがい施設により農業用水の安定供給がなされ、高品質な農産物が生産されている。 また、区画整理により作業効率の良いほ場が確保され、高齢化の進む当地域において農作業者の労力軽減ならびに新たな担い手の確保につながり、地域営農の維持に貢献している。このような生産基盤の整備に伴い高品質なももが生産され、地域の拠点施設である新府共選所についても県内外からの来訪者で賑わいを見せるなど多くの効果が発現されていることから、今後の事後評価は必要ないと思われる。</p> <p><input type="checkbox"/> 「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期： 年度 ・方法： 	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由) なし</p> <p>(具体的反映策)</p>
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由) なし</p> <p>(具体的反映策)</p> <p>(既に実施した改善策の内容と効果)</p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由) なし</p> <p>(具体的反映策)</p> <p>(9) その他特筆すべき事項 〈有・無〉</p> <p>なし</p>

3.添付資料シート(1)

畑地帯総合整備事業(担い手支援型)中条地区 計画一般平面図



凡例	
受益地	
農道	
農道(既設利用)	
区画整理	
排水路	
排水路(既設利用)	
用水施設(畑かん施設)	
用水施設(配水槽)	
撮影方向	

3. 添付資料シート (2)

① 畑地かんがい施設

配水槽



整備後35年が経過し、パイプラインは老朽化による漏水、配水槽は施設の老朽化が進行していたため、本事業による畑かん施設の更新により農業用水の安定した供給が維持されるとともに、新たに地域給水栓を設置したことにより防除作業の効率化も図られている。



給水栓



作業状況



④ 区画整理



区画整理と共に農道が整備され、車両の乗り入れやものの搬出など営農条件が良好となり、収益性の高い農業経営が可能となった。

⑤ 新府共選所



生産基盤の整備の結果、高品質なものの安定的な提供が可能となった。共選場から出荷されるももは『新府の桃』としてブランド化され、県内外から好評を得ており、直接共選所へ購入に訪れる観光客も増加し、農家の営農意欲向上に貢献している。

② 農道



地区中心に位置する共選所へのアクセスを考慮した農道整備により、通作や集出荷の効率化やももの品質向上が図られた。

③ 排水路



未整備であった土水路を整備し、表土の流出防止や排水改良により営農条件が改善され、農作業の省力化やももの品質向上が図られた。